

## 医療安全室から患者さんをお願いしたいこと

安心、安全な医療のために、私たちはいろいろな取り組みをしていますが、患者さん・ご家族のみなさんのご協力が欠かせません。また、安全のための確認に患者さんご自身も参加いただきますようお願いいたします。

皆さまのご理解をお願いいたします。

### お名前の確認

病院には同姓や似たお名前の方がたくさんいらっしゃいます。診療や治療・処置を受ける前にお名前を伺ったり、名乗っていただくことがあります。安全確認のために重ねて確認を行うものです。

また、入院時はリストバンドの装着をお願いしております。検査や点滴、手術や輸血などの際、患者さん確認に使用します。

### お薬の確認

他院から処方されているお薬（飲み薬・貼り薬・軟膏など）がある場合は「お薬手帳」か、お薬の内容が書かれた用紙（薬剤情報提供書など）をお持ち下さい。

## 入院時のお願い

### 持参薬について

他院から処方されているお薬は、医師指示にて継続する場合がありますし、病状により中止となる場合がありますが、内服確認のために持参して下さい。

入院中にお薬が切れてしまった場合には、病棟看護師にお話し下さい。

### 持ち込み品の制限

院内安全確保のために、入院中の病室内への持ち込み品を制限させていただいております。

どうしても持ち込みの必要がある時は、病棟看護師にお話し下さい。お守り頂けない場合は、他の患者さんの安全も考慮して、退院していただく場合もあります。

### 持ち込み禁止なもの

刃物類：ハサミ、ナイフ、カッター、カミソリ（ナイフ型）

鋭利なもの：キリ、裁縫針、ドライバー、その他鋭利なもの

たばこ（当院は敷地内禁煙となっております）ライター、マッチ、その他の発火物

アルコール、灯油、その他の可燃物

### 持ち込み可のもの

爪切り、安全カミソリ（T字型）

果物類はご家族が皮をむき、カットしてご持参くださるようお願いいたします。

### 無断外泊・外出に関して

---

外泊や外出は許可が必要ですので、申し出て下さい。守っていただけない場合は退院していただくことがあります。

### 貴重品・現金の管理

---

盗難防止のため、貴重品や多額の現金はお持ちにならないでください。

入院中に紛失・盗難にあわれても当院では、責任を負いかねますのでご了承ください。

### アレルギー情報について

---

薬品や食品などのアレルギーのある方は必ず申し出てください。

### 転倒防止のために

---

#### 1. 段差

わずかな段差にも、つまづく事があります。手すりにつかまったり、歩行器を使ったり予防してください。歩行や立ちあがりに不安のある方は、遠慮なく申し出てください。

#### 2. はきもの

足にぴったり合った、かかとの低い靴を選びましょう。足が十分に上がらない方、しびれている方は、スリッパは脱げたりひっかかったりするので危険です。

#### 3. 水ぬれ

床に水がこぼれているとすべって転びます。職員も注意はしていますが、水こぼれに気づいたら職員にお知らせください。

#### 4. 寝不足や疲れ

眠れなかったり、安定剤を飲む時間が遅かったりすると、頭がボーっとしたりめまいがして、転倒の原因になります。体調がすぐれない場合は看護師にお知らせください。

#### 5. サイズの合わない寝衣

大きすぎたり、裾の長すぎるパジャマ（寝衣）は、歩く時にひっかけて転ぶことがあります。できるだけサイズのあったパジャマ（寝衣）を身につけましょう。

#### 6. 薬を飲んだとき

安定剤や睡眠薬、かゆみ止めの薬は頭がボーっとすることがあります。薬をのんだあと、トイレに行こうとしてフラフラして倒れる事もあるので注意しましょう。

## 7. 点滴中

点滴スタンドの動きが悪く、思うように動けなかったため、転びそうになることがあるので注意してください。点滴スタンドの動きが悪い場合は看護師にお申し出ください。複数の点滴や器械で注入されている方はバランスがとりにくいこともあります。

## 8. お風呂

お風呂場には、手すりや椅子を取り付けていますので、つかまって移動してください。何かあったときのために、ナースコールを設置していますが、不安を感じる場合は、病棟看護師に声をかけてください。

## 9. トイレ

転倒はトイレの行き帰りに一番多く起こっています。気分が悪くなったら、ブザーを押してください。手すりにつかまって立ちあがりましょう。安定剤などの薬を飲んだあとの歩行は危険なので注意しましょう。尿器やポータブルトイレを使用してもよいでしょう。

## 10. ナースコールで呼んでください

忙しそうにしているから、これくらいは自分でできるからと思っても、入院中は意外と力がなくなっています。遠慮せずにナースコールで呼んでください。

## 治療や検査について

---

治療や検査についてわからないことはそのままにせず、些細な事でも遠慮せずに医師または看護師にお尋ねください。